

■サロン・ド・IP 報告

「ドイツデザイン哲学とドン ブラハ」
2004年2月18日午後6時30分、ドイツ分
化会館にて国際委員会主催のサロン・ド・I
Pが開かれました。出席者は74名でした。
講師のドン ブラハ極東ゼネラルマネジャー
ステファン・シューマツハ氏の話しをリライ
ンスの利重氏が通訳・解説をするという形で、



スライドを交えながら2時間にわたる充実
したセミナーでした。内容は、ドン ブラハの
「MEM (エスペラント語で自分自身)」とい
う商品の開発経緯やコンセプトを軸に、1950
年代から現在に至るまでのデザインの変化、
デザイン哲学とその背景についてでした。セ
ミナー後、ステファン・シューマツハ氏を囲
んで懇親会が開かれました。

ステファン・シューマツハ氏の話より
「50年代の敗戦後では商品の調達が第一で
したが、60年代に明るさやカラフルなものが
求められて、少しデザインに目が向けられ、
70年代に入ると様々な要求に対応するた
めにデザインの水準があがりましたが、80年
代には今では考えられないようなクレイジ
ーなデザインが流行りました。90年代に入
ると物質文明から脱却し、現在は内面を重視
したシンプルでミニマルなデザインが求めら



れています。何かものを選ぶというのは心の
反映であると思います。これに対して我々
は、様々な社会現象から人間が求めている
ことを背景に活動している芸術家に依頼し、
彼らの表現したものに一切手を加えずデザ
インにしています。それは彼らが内面性を追
求し、表現したものだからです。」
(文責 羽澤)

■会員交流フォーラム

第17回 賛助会員の会 インフォメーション
の会

「快適な住居を作るために」をテーマに今
回は視点を変えて「安全」という切り口で取
組みました。出席者は61名の参加をいただき
2月4日にINAXアーキプラザで開催し
ました。基調講演を警備の専門家としていま
やその代名詞にもなっている、セコムして
いますかのTVCMのセコム株式会社の池田
寛治氏をお招きして警視庁のデータ（住
宅進入盗認知件数に対する検挙率は20年
前と比べ70%から30%へ低下）などによる
実情と国際的背景（中国の一人っ子政策の
結果と社会主義体制崩壊による武器の放出
に見られる犯罪の凶悪化）は今や新聞紙上
を賑わせるように皆様の認識も高いと思われ

ます。これからは対策も対処療法から予防
療法へ、そして被害に会った時の損害保険
と被害の拡大防止の取り組みへと意識を切
り替えることも必要になって行くだろう。など
安全についての再認識は私だけでは無かつ



たと思われます。次に賛助会企業の発表と
して株コスモトレンドの「ダニ対策」としてダ
ニの生態と行動からの対策として、石塚硝
子の防ダニ剤セグロセラの安全性と効果に
ついてとその応用商品の説明。ダニの拡大
写真はまるでスターウォーズの世界。余りの
熱演に時間が少々オーバーそして最後はダ
ントー（株）からタイルの床暖房工法につ
いて、前社の熱演でパワーポイントがダウン？
急遽画像の応援無しでもしっかり説明、カ
タログを見ながらの説明は新鮮、司会のダ
ニにとって床暖房は快適住まいの紹介をは
っきり否定、タイルは人とペットには優しいが、
ダニにとっては居心地の悪い環境と言えられ
ました。各社それぞれと、印象の深いセミナー
そして豪華？軽食ワイーンでの懇親会、会
費1000円の元がとれた？インフォメーション
の会で有った事をご報告いたします。

■平成16年新年懇親会

会員交流委員会 松澤 敏高記
思えば第一回は、東京デザインセンター
において震混じりの寒い夜、お琴の音の彩
を添え、手作りの暖かい新年懇親会（92
名の出席で開催されました。）を担当委員
全員で色々考え、開催しました。回を重ね
るたびに手を加えあるいは省きそして我々流
のJIPATスタイルに育ってきた感じがします。
あれから9回目を2004年1月16日（金）
に開催されました。設立10周年を迎えた
今年協会の次のステップ新たな出発として
出席者133名の皆様の心に映ったのではない
かと思えます。

懇親会は中川会長の今年の抱負、そし
て昨年のIPEC21 デザイナーズショーケース
作品のムードパブリックへの招待出展につ
いて、帰国早々の報告を交えた挨拶で始まり
ました。次に主賓の（財）建築技術教育普
及センターの山中専務理事よりまた来賓を代
表して（社）日本商環境設計家協会の奥平
副理事長からIP資格制度やわれわれを取り
囲む環境を交えご挨拶を頂きました。そし
て乾杯は日本インテリアプランナー協会協
議会の三輪会長のご発声で声高らかに元
氣に行ないました。新しく入った会員方
々の紹介、IPEC21-2004の志村実行委員
より決意表明、本日のお楽しみ、今年
の運試し？のビンゴ大会は会員交流委員
会の佐藤勝さんと賛助会員のアルフレ
ックスの宮田さんとコンビで司会が始まり
今年一年を占い全員それ

ぞれのお土産をもつての帰ることが出来
ました。そして中締めを藤本賛助会代表幹
事の祝い締めでお開きになりました。時の
たつのは早いもので瞬く間に楽しい時間
は幕となりました。今回会場を便宜を
図っていただいた東京デザインセンター
様、生花・サイン・羽子板などお正月の
飾り付けにご協力頂いたランドスケープ
ハウス様、乃村工藝様、立石様として
この会の運営にご協力いただきました
委員の皆様この紙面をお借りして厚く御
礼申し上げます。

■10周年記念総会

●5月29日（土）に予定している10周年
記念総会の記念テーマを「東京のデザイン」
～温故知新とします。本協会は主に首都
圏に在住するインテリアプランナー資格者
の団体です。必ずしも東京地区のデザ
インを日常の仕事としているわけでは
ありませんが、10周年にあたり、私
たちが住む東京を中心とした広がり
のデザインについて改めて考えて
みたいのです。江戸開府401年とい
うことから、江戸時代までさかの
ぼることもできますが、現代の東京
を私たちがつけてきた、私たちの
記憶にあるくらいの懐かしい街並
みや生活を思い返し、現代の東京
の姿を考えると、都市は建築だけ
の集合でもなく建築はインテリア
だけの集合でもないことがよく分
かります。また懐かしい

時代の整合のとれた世界、現代の複雑極
まりない様相、それにこれからの環境
プランニングのあり方を考えると、従
来のプロフェッションの分類ではま
ったく捉えきれなく、私たちは何を
どうしていったらいいのかという思
いに慄然とさせられます。しかし、た
しかかなことは、インテリアを中心
とした生活環境をプランニングデザ
インしている私たちは、最も人間に
近いスケールの環境について毎日
のように考えを巡らせ、その望ま
しいありようを探っているという事
実です。その私たちはこれからも人
間にいかに近い生活環境デザ
インを続けていくことになるで
しょう。東京にインテリアプラン
ナーの協会が発足して10年。設
立に努力し、この10年の活発な
活動に携わってきたたくさんの方
々とともに次の時代を考えてみた
のです。私たちはこの貴重な機
会に私たち自身の生活基盤である
東京と、そのあらゆるデザインに
ついて、隣接する各界のプロフェ
SSIONナルとともに故きを温ね
新しきを知る試みをしてみたい
と希うものです。

●シンポジウムはトーク形式として、
現在パネラーを各界の方に交渉中
です。トークに先立ち、「東京の今」
と題して現代の東京の諸相を映像
で流す計画を立てていますが、こ
れは会員の皆様のご協力もいた
だこうしております。詳しくは
またご案内いたしますが、皆
様の積極的なご参加を期待して
おります。

実行委員長 浦 一也

■ 3分間のタイムスリップ
アングロ・ダッチ様式

i & i インテリア総合デザイン室 井上 常雄
 この時代はどうも人間らしい生き方なのか、動物と人間の狭間な生活だったのか、欲望のままに生活があったようである。ピューリタン革命で少しは、人らしい生活に戻ったかに見えたが、今度はもう少し楽しみのある生活が欲しいと、王政復古を願い実行してしまう。そしてまたそれにあきると、もっとよいことがあるのではと思う。そんなとき、ペストの大流行、翌年にはロンドン大火、オランダ艦隊による砲撃という不吉な出来事が、あいついで起こる。そんな時、チャールズ2世がルイ14世と交した密約が発覚した。



マローの影響が見られるアームチェア、布の柄の取り方やコップを逆さまにした脚が特徴

イングランド国教会がカトリック教会に復帰することを条件にフランスが武力援助をするという内容のものであった。ナントの勅令を廃止して、カトリズムを看板にした、大陸制覇政策を露骨に追及しているルイ14世に面と向かって抵抗していたのが、独立したばかりのオランダ総督のウィリアムです。

イギリス議会はこの現状を救って欲しいと招請状をおくりす。かれはおよそ1万2000の軍隊を率いてイングランドに上陸します。これに貴族、ジェントルが各地から集まってきます。国王を守る常備軍も寝返るものが出始めます。絶望した国王はフランスに逃亡します。これを後に名誉革命と名付けます。空位になった王位をメアリーとウィリアム二人に共同統治者として推すことが議会で決定されます。条件付きの文書であった、それは、法と自由が守られる国家体制の保証を求める文章で、それは権利章典となった。この中には、「以降カソリックの君主または、カソリックを配偶者とするものは、王位に就くことは許されない」等、闘争の過程で学び取った教訓の章典であった。



ロンドン大火のあとから籐が盛んに使われる様になった。



かつらイス (Periwig) 座面の高さの2.5倍が背当ての高さになる。

さて、やっと家具の話をする事ができる時間になりました。避けようと思っても避けきれない時代背景があり、お許しください。このウィリアム・メアリー時代を別名アングロ・ダッチ様式と呼びま

す。それは、アングロ・サクソンとかアングロ・ジャパニーズと呼ぶのと同じ、オランダ風という意味です。ナントの勅令廃止でフランスを逃れたなかにダニエル・マローがいた。彼は、ルイ14世の宮廷家具師アンドレ・シャルル・ブールの工房で修業を積み、ブール様式の洗練されたフランスのバロック様式の家具のデザインをマスターした傑出した人物で、オランダに逃れた後、ウィリアムについてイギリスに渡りバロックをイギリスにもたらした。彼は家具のデザインを7000枚もの銅版に残している。



ウィリアム3世

その洋式はアメリカにも渡りボストンから、オランダの領土でもあったニューヨークでも大いに流行した。



この時代からオークに替りウォールナットになった。脚はトランペット型

■ イベント情報 ART / ROOM 展「インテリアへの提案」

アートフロントギャラリー (http://www.artfront.co.jp) からの住空間への新しい提案です。会期中、テーマごとに順次展示が変わります。 入場無料

会期：2004年2月18日(水)～5月9日(日) (月曜日定休) 11:00～18:00
 会場：ヒルサイドギャラリー

ヒルサイドテラス A 棟

○ 3月2～14日 書斎のピカソとキタイ
 作品作家：ピカソ、キタイ、クリスト 他
 家具デザイナー：レラ&マッシモ・ヴィニエリ、ヤコブセン、他

○ 3月16～28日 和の感覚
 作品作家：タピエス、船田玉樹、田中芳他
 家具デザイナー：イサム・ノグチ、ポール・ケアホルム、他

○ 3月30日～4月11日 プリミティブの衝撃
 作品作家：李禹煥、氏家慶二 他
 出品作品：アフリカ彫刻・織物・壺、他

○ 4月13～25日 スローリビング
 作品作家：祐成勝枝、ソル・ルイット 他
 家具デザイナー：フィリップ・スタルク

○ 4月27日～5月9日 パワーアート
 作品作家：川俣正、粟津潔、白井美穂 他
 家具デザイナー：カステリオーニ、妹島和世

* 展示予定の作品・家具等は都合により変更されることがあります。

展覧会へのお問い合わせは下記までお願い致します

■ アートフロントギャラリー ART / ROOM 展担当

TEL:03-3476-4868 FAX:03-3476-4874
 E-MAIL: artfront@artfront.co.jp

■ ヤマガワ(株) 広報室
 TEL:03-3253-5111 (代表)

FAX:03-5210-5473
 E-MAIL: press@yamagiwa.co.jp

■ 「JID 本部教育研究委員会活動報告会」のご案内

JID教育研究委員会の報告会が開かれます。JIPATの「インテリアから住まいを考える会」も活動報告を村

口峯子氏がされます。何方でも無料で参加可能、報告内容に興味の持てるものも多いと思います。

<グループ別テーマ報告>

○ Aグループ：小学校「総合的な学習の時間」のインテリア教育報告
 本部教育研究委員会 Aグループ 委員長 鈴木儀雄

○ Bグループ：「ルームシェアする若者たち」調査報告
 本部教育研究委員会 Bグループ 委員長 藤原啓克

○ Cグループ：「ヒューマニジングデザイン」に関する活動報告
 本部教育研究委員会 Cグループ 委員長 藤川征輝

○ JID 登録研究：

1. ユニバーサルデザイン研究会活動報告 会員 東島昌子、金子妙子

1. インテリアから住まいを考える会活動報告 会員 村口峯子

・開催日時：2004年3月26日(金) PM 6:00～8:30
 ・定員：60名(先着順)

※キャンセルの場合は必ず JID 本部事務局 (TEL:03-5322-6560) へご連絡下さい。

・場所：リリカラ会議室 新宿区西新宿7-5-20 TEL:03-3366-7824
 ・参加費：無料(研究資料がもらえます)

・参加申込：ID 本部事務局 FAX:03-5322-6559 Email: head@jid.or.jp
 問い合わせ

・主催：社団法人日本インテリアデザイナー協会 本部教育研究委員会
 ・後援：リリカラ株式会社

■ 「スペイン・ホームテキスタイル展示会」開催

過去最多の20社が来日し、ヨーロッパの最新トレンドを東京で紹介します。

●日時：2004年3月30日(火)～4月1日(木)10:00～17:00(最終日は16:00終了)

●場所：池袋サンシャインシティ
 ワールドインポートマーケットビル6階 M-2
 ホール 東京都豊島区東池袋3-1-3

●入場：無料(一般消費者の方のご入場はお断りしております)

出展品目：カーテン生地、レースカーテン、家具用張り地、ベッドカバー、ベッドリネン、テーブルリネン、タオル、毛布、カーペット等、出展社数：20社 当館のホームページにて詳しく紹介しています。

今月半ば頃に、出展社カタログを郵送いたします。 http://www.mcx.es/tokio/

主催：スペインホームテキスタイル協会、スペイン国大使館経済商務部
 問い合わせ：スペイン国大使館経済商務部
 担当：大越(おおこし)

Tel. 03-3222-3555
 Fax. 03-3222-3550

■ 情報委員会からのお知らせ

5月29日の10周年記念総会にあわせ、新しい会員名簿が発行されます。つきましては、会員皆様の記載事項の確認を行いたいと思います。後日、事務局より名簿記載事項確認のための用紙が届きますので、ご記入、ご返送をよろしくお願い致します。

■ 編集後記

JIPAT10周年記念総会の準備が着々と進んでいます。ニューズレターでも会員の皆様に関心を持っていただけるよう、準備の経過などをタイムリーにお届けして来ましたが、皆で10周年を盛り立てていきましょう